

「エコ」をテーマに出張授業 年間参加者が過去最多の3千人に

「エコ・クッキング」や「エコはがきづくり」「冷熱実験」など、京葉ガスが小中学校を対象に展開している出張授業は今年、参加者が3,096人に達し、過去最多となりました。



松戸市立高木第二小学校で行った「冷熱実験」= 11月29日

京葉ガスは、楽しく親しみやすい体験を通じて、子どもたちに身近なところからエネルギーや環境問題への関心をもってもらうことを目的に、当社がガスをお届けしている地域の小中学校で出張授業を行っています。平成16年に初めて開催して以来、授業内容を見直しながら学校関係者へ案内、周知するなどし毎年、回数、参加人数ともに増加しています。これまで延べ386回実施し、1万2千人を超える児童や生徒に参加いただきました。

出張授業では、事前の買い物から料理、片付けを行うなかでの留意点を学ぶ「エコ・クッキング()」や、当社事務所で不要になった用紙をパルプ化したものからオリジナルはがきを作製する「エコはがきづくり」の実習のほか、液体窒素(マイナス196)を使った「冷熱実験」では、都市ガスの原料である液化天然ガス(マイナス162)の特徴を紹介しながら環境問題を考えます。また、環境に優しい天然ガスの特性や生活の中での都市ガスの役割を理解してもらおうと、8月に「都市ガスが届くまで」を新設するなど、合わせて5つのメニューで展開しています。今年の実施数は過去最多の96回に、参加者も最多の3,096人となりました。

当社は今後も、次世代教育のお手伝いとして、出張授業を積極的に行っていきます。

「エコ・クッキング」は、東京ガス株式会社の登録商標です。